

令和5年7月に内山小学校と大和小学校の統合に向けた説明会を開催し、4日間で230人の方にご参加いただきました。

説明会の会場やアンケートでいただいたご意見・ご質問に関し、教育委員会の考え方をまとめました。より詳しい内容は「内山小学校と大和小学校の統合について（おたより詳報（令和5年9月））」をご覧ください。

内山小学校と大和小学校の統合に向けた説明会のウェブサイト

（説明会当日の資料やおたより詳細を掲載しています。）

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-4-9-0-0-0-0.html>



統合についての考え方と今後のスケジュール

1 統合について（要点）

内山小学校と大和小学校との統合は、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会の答申を踏まえ、次のような考え方で進めます。（詳しくは、上記ウェブサイトの資料をご参照ください。）

（1）統合案

小規模校化が継続する内山小学校と、大和小学校を統合し、進学先は振甫中学校とします。

（2）統合場所及び通学区域

統合校は現在の大和小学校の場所で整備を行います。統合校の通学区域は、現在の内山小学校と大和小学校の通学区域とします。ただし、通学上の安全を考え、内山学区の広小路通の南側に居住している児童については、現在の大和小学校へ通学する場合、通学距離が延びるとともに大通り3本及び繁華街を通過することになるため、統合校開校時に通学区域を変更し、進学先は千種小学校、進学先は今池中学校とします。

（3）施設整備の方向性

統合にあわせて、現在の大和小学校の校舎を取り壊し、新築します。体育館についても校舎の新築にあわせて改修します。

※新校舎の工事期間中は、安全な学校生活の確保のため、一時的に現内山小学校の場所で統合校を運営します。

2 今後のスケジュール

下記のとおり、令和5年度中の統合決定に向けて取り組みを進めております。再度の説明会の開催は予定しておりませんが、ご意見・ご質問がございましたら、教育委員会教育環境整備課へお問い合わせください。

(想定スケジュール)

年 度	内 容	
令和5年度	統合の決定	
令和6年度 ～ 令和7年度	統合校の開校に向けた新しい学校づくり ・校名・校章等の検討 ・通学路・通学の安全等の検討 など	統合校の新築 工事の設計
令和8年度 ～ 令和10年度	統合校の開校・運営（現在の内山小学校の場所） ↓	統合校の新築 工事 （3年程度）
令和11年度	新築工事の完了、新校舎への移転（現在の大和 小学校の場所）	

※新築工事のスケジュールは、令和6年度～7年度に行う「統合校の新築工事の設計」の中で、より詳しい内容が決まります。

説明会での主なご意見・ご質問と教育委員会の考え方

※詳しい内容は「おたより詳報（令和5年9月）」をご覧ください。
（名古屋市公式ウェブサイトに掲載しています。）

1 統合の方針について

Q 今後のスケジュールはいつ確定するのでしょうか。
できればもっと細かいスケジュールを知りたいです。

A 令和8年度の統合校開校を想定して進めておりますが、スケジュールにつきましては、統合決定により確定します。現在、令和5年度中の統合決定を目標に取り組みを進めております。

2 統合の場所について

Q 統合の相手校は内山学区の中心から一番近い小学校を選ぶべきではないのでしょうか。また、新校舎を大和小学校の場所に建てるのはなぜでしょうか。内山小学校の場所にすることはできないのですか。

A 内山小学校も大和小学校も学区の北半分に多くの子どもたちが居住しておりますので、子どもたちの居住分布を中心に、学校間の距離、学校の敷地面積等も考慮し、統合の相手校、統合校の場所を大和小学校としております。

3 通学区域・進学先について

Q 広小路通から南に居住する子どもたちは、これまで内山小学校と一緒に通っていた子どもたちと統合校開校時に違う学校に通うことになってしまうのですが、子どもたちへの配慮はあるのでしょうか。

A 広小路通から南に居住する子どもたちにできる限り負担がかからないような配慮として、引き続き統合校へ通学できる措置や統合校の開校に先立ち千種小学校へ通学できる措置を考えております。

(内山小学校と大和小学校の統合に向けた説明会資料 3-2 (名古屋市公式ウェブサイト掲載) に具体例を掲載しております)

Q 今住んでいる場所からは、他の学校の方が近いのですが、近い学校へ通えるように学区の再編や選択制など柔軟な対応はできないのでしょうか。

A 距離として他の学校が近い世帯があることは承知しておりますが、地域活動と子どもの活動や学校との関わり等を考えますと、まとまった形で通学区域を設定することが必要と考えております。また、統合校の通学距離は、概ね 1.5 km 以内に収まっておりますので、実際に支障なく通える範囲と考えております。

4 跡地の活用について

Q 内山学区には災害の際に避難できる場所が少なく、また、内山コミュニティセンターは避難所や学区の行事に利用されているので残していただきたいです。

跡地は福祉や子どもたちのためになるような活用をお願いしたいです。

A 跡地につきましては、統合の決定後に、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら、全市的な視点で決定していくこととなりますので、教育委員会としましても、全市的な検討の中で地域のご要望が配慮されるよう進めてまいりたいと考えております。

なお、これまでの小学校の統合のいずれの案件におきましても、跡地は指定避難所に指定されております。

5 トワイライトスクールについて

Q トワイライトスクールは統合に伴いどうなるのでしょうか。

A 統合校のトワイライトスクールとして、新しく設置する見込みとなっております。

6 通学の安全・通学距離について

Q 統合校や新校舎建設期間中の通学路の安全が心配です。しっかりとした対策をしてほしいのですが、これまでに統合された学校の例ではどんな配慮がありましたか。

A 通学の安全につきましては、統合決定後、新しい学校づくりの協議のなかで、新しい通学路や通学の安全対策を検討していくこととなります。その際には、地域や保護者や学校現場の代表の方に参加していただく懇談会を作り協議を進めてまいります。

これまでに統合された学校の例では、ガードパイプや横断歩道の設置、信号の時間調節等、様々な対策を関係機関や関係部署と協力しながら行っております。

7 新校舎の建設、建設工事中の学校運営について

Q 統合により児童数が増えますが、新校舎建設中の期間は現内山小学校の教室で足りるのでしょうか。不足するならば教室の配置はどのように対応されますか。

A 推計上、現内山小学校では若干教室数が不足することが見込まれますので、不足する教室数を補うために仮設校舎を造る予定です。なお、仮設校舎に不足する普通教室を配置するのか、不足する教室は特別教室等を転用し、仮設校舎に特別教室を配置するのかといった具体的な検討は、今後学校と相談しながら検討を進めてまいります。

8 新しい学校づくりについて

Q 統合校が開校する際には先生方も異動してしまうのでしょうか。

A 統合前の学校に配属されていた教員をバランスよく統合校に配置できるよう配慮をしてまいります。

お問い合わせ

名古屋市教育委員会 教育環境整備課

電話：052-972-3282、ファックス：052-972-4176

E-MAIL：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp